

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 文化財保護センター環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化財保護センター 管理調整係

電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 49,727 千円（前年度予算額：40,151 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	40,151	0	0	0	0	0	0	30,000	10,151
要求額	49,727	0	0	0	0	0	0	44,700	5,027
決定額	49,727	0	0	0	0	0	0	44,700	5,027

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

文化財保護センターは平成10年に旧警察学校の跡地に移転し現在に至るが、旧警察学校の建物をそのまま活用しているため、老朽化が著しい。職員や来館者に対してどのように安全を確保するか、また発掘調査に伴い出土する大量の遺物や発掘記録をどのように保管していくかが課題であり、このため文化財保護センターの安全安心な環境の整備を実施する。

(2) 事業内容

◎文化財保護センター北館屋上防水及び外壁等改修工事

現在のところ建物内部への直接の漏水はないが、過去には漏水していたこともあり、屋上面や外壁等の経年劣化が12条点検で報告されているため、長寿命化計画に基づいて補修を行う。

◎文化財保護センター東館Ⅰ実施設計

現在1か所漏水しており、屋上面や外壁等の経年劣化が12条点検で報

告されているため、長寿命化計画に基づいて令和3年度に実施設計を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	8,172	東館 I 実施設計 5,633 北館工事監理 2,539
工事請負費	41,259	北館屋上防水及び外壁改修工事
その他費用	296	業務旅費他
合計	49,727	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設の長寿命化計画に基づき、建築物、建築設備の修繕や更新を計画的に実施することで、建築物の長寿命化を図るとともに財政負担の軽減を図る。

(2) 後年度の財政負担

計画的に施設整備を行うことで、突発的な不具合を減らし負担軽減を図る。

(3) 事業主体及びその妥当性

国や県の開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行い、記録保存し、その研究、活用をとおして県の文化振興に寄与することを目的とする県の教育機関であり、施設管理者として安心安全な環境づくりを推進する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
老朽化、経年劣化した建物を使用目的に合わせて整備することで、職員及び来館者にとって安心安全な施設づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

センターを維持管理するための環境整備であるため、指標は設定できない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
中館の屋上防水及び外壁等改修工事
北館（昭和50年築）の実施設計

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
実施設計を計画的に実施したことにより工事をスムーズに進めることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	今後、県民に向けて普及・活用するための埋蔵文化財の収蔵場所、整理場所の安全性の確保は必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	老朽化した建物を使用目的に合わせて修繕することで、職員及び来館者にとって安全な施設とすることができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	建物の利用計画を見直し、必要な箇所を効率的に修繕することができた。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 今年度北館を修繕し、来年度の工事に向けて東館Ⅰの概算見積を依頼するが、北館、東館と東館1、2は耐震性能を満たしていなかったため、今後耐震補強も視野に入れて計画をより細やかに見直す必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 現在すでに老朽化が著しいが、今後も発掘に伴い増加する遺物等の収蔵に備えるため、県有施設の長寿命化計画に沿って定期的に修繕や更新を行っていく必要がある。また、敷地内の除草を継続的に実施して、安全で清潔な職場環境を維持する必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	
--	--